

CASBEE®-建築(新築)

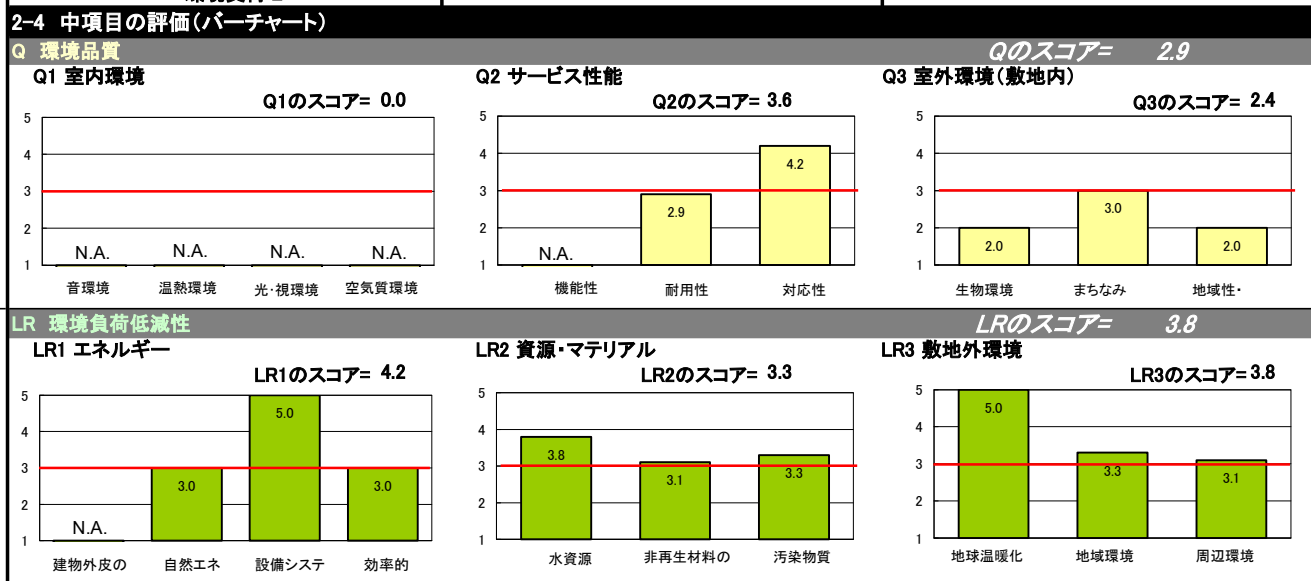
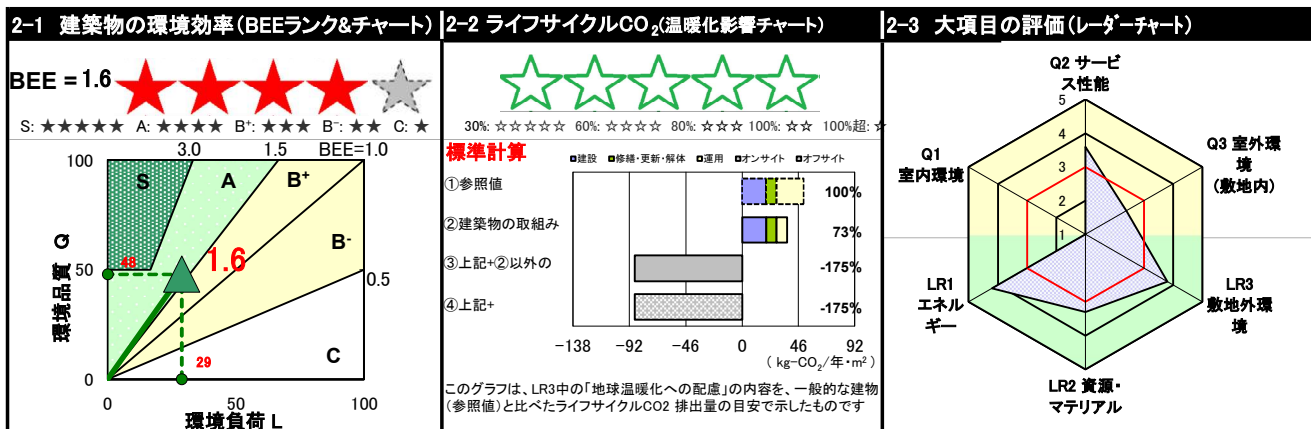
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横浜冷凍株式会社 大井川第二物流センター 新築工事	階数	地上2F
建設地	静岡県焼津市飯渕字中区1265番	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火地域 指定なし	平均居住人員	19 人
地域区分	7地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年10月 予定	評価の実施日	2024年10月18日
敷地面積	3,566 m ²	作成者	須田 崇
建築面積	2,277 m ²	確認日	
延床面積	3,007 m ²	確認者	



(仮称)横浜冷凍株式会社 大井川第二物流センター 新築工事 イメージパース ©株式会社今川建築設計事務所



3 設計上の配慮事項		
総合 「CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版」による評価結果 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		
Q1 室内環境 評価対象外	Q2 サービス性能 階高:3.9m以上。 0.1≦[壁長さ比率]<0.3。	その他 特になし。
LR1 エネルギー BEIm = 0.00	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 井水は生活用水として使用されます。 LGS使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を使用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率-175%。 燃焼機器を使用していない。 「光害対策ガイドライン」のチェックリストを満たしている項目が一部である。また、「広告物照明の扱い」の配慮事項の過半を満たしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい